

トヨタは、「トータルクリーン」をめざしています。

「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携させ、クリーンなクルマづくりをめざします。さまざまな環境目標を、バランスを取りながら達成し、総合的に環境性能の向上を図ります。



■ 地球温暖化対策を実施しています。

- 温室効果ガスであるCO₂排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。さらに、Super CVT-i(自動無段変速機)などの採用により、低燃費を達成しています。
- エアコンの冷媒充填量を低減。さらに、冷媒にオゾン層を破壊しない代替フロンHFC-134aを採用しています。

■ 都市環境のクリーン化に配慮しています。

- 三元触媒、可変バルブタイミング、空燃比補償装置などの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、全車「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を国土交通省より取得しています。



(全車)

■ VOC^{*2}を低減しています。

- 内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成。車室内空気質の快適性に配慮しました。

■ 環境負荷物質を削減しています。

- 鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界自主目標を達成しています。

*1.Eco-VAS[エコバス]:Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。
*2.VOC:Volatile Organic Compounds

トヨタ サクシード 環境仕様

車両仕様	車両型式		DBE-NCP160V		DBE-NCP165V
	エンジン	型式	INZ-FE		
		総排気量 (L)	1.496		
環境情報	駆動装置	燃料	無鉛レギュラーガソリン		
		駆動方式	2WD(前輪駆動方式)		4WD(四輪駆動方式)
車両仕様	変速機	JC08モード	Super CVT-i(自動無段変速機)		
		燃料消費率 (km/L)	19.6	18.2	15.8
環境情報	燃料消費率	CO ₂ 排出量 (g/km)	118	128	147
		「平成27年度燃費基準※2」をクリアしています。			
車両仕様	主要燃費改善対策	自動無段変速機、充電制御、可変バルブタイミング、電子制御式燃料噴射、電動パワーステアリング、アイドリングストップ装置		自動無段変速機、充電制御、可変バルブタイミング、電子制御式燃料噴射、電動パワーステアリング	
		SU-LEV※3※4		SU-LEV※3※4	
環境情報	排出ガス	CO	1.15		
		NMHC	0.013		
車両仕様	NOx		0.013		
		(dB)		73/68/90	
環境情報	車外騒音(加速/定常/近接)	HFC-134a/370		HFC-134a/370	
		冷媒の種類/使用量(g)		自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下※5)	
環境情報	環境負荷物質削減	鉛	自工会2005年以降使用禁止※6		
		水銀	自工会2007年1月以降使用禁止		
車両仕様	車室内VOC	カドミウム	自工会2008年1月以降使用禁止		
		六価クロム	自工会2008年1月以降使用禁止		
車両仕様	車室内VOC	自工会2008年1月以降使用禁止		自工会2008年1月以降使用禁止	

*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 *2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準 *3. JC08モード走行 *4. 平成17年基準排出ガス75%低減レベル *5. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 *6. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。